第８章　計画の目標

１．計画の目標値と評価

（１）目標値について

立地適正化計画本計画に基づく、施策の効果を把握するために、誘導方針等を踏まえて次の目標を設定します。

目標については、一義的には居住及び都市機能に関するものを設定することが考えられますが、その他にも誘導施策がコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりに対してどの程度寄与したかを評価するため、多様な観点で設定することが可能です。ただし、目標は、あくまでも各種施策の効果がどの程度発現したのかを把握し、その結果を踏まえて立地適正化計画を見直し、次の施策につなげていくことを前提に設定する必要があります。

■目標値の設定

誘導方針 １

人口密度を維持し、生活利便性を確保した、ゆとりある良好な市街地の形成

●人口密度の維持

指標１　居住促進区域の人口密度に関する指標

項目	基準値（2025 年度）	目標値（2046 年度）	推計値（2046 年度）
居住促進区域内の人口密度	22.4 人／ha	22.4 人／ha	20.8 人／ha

目標値の考え方

基準値は、2025 年度の実績値です。住民基本台帳をもとにした 2046 年の推計値によると、20.8 人／ha ですが、居住促進区域内への誘導によって、現状維持を図ります。

●安全・安心な住環境の形成

指標２　住民の意向に関する指標

項目	基準値（2025 年度）	目標値（2046 年度）
これからも波佐見町に住み続けたいと考えている住民の割合	83.5%	基準値以上

目標値の考え方

基準値は、令和 ７ 年実施の町民アンケートの実績値になります。居住促進区域にかかる郷を抽出し、住み続けたいと回答した人を算出しています。今後の誘導施策等の実施により、基準値以上を設定します。

指標 3　地価に関する指標

項目	基準値 （2016 年度～ 2025 年度の 隔年の平均値）	目標値 （2046 年度）	参考値 （2025 年）
居住促進区域に関わる 地価（5 地点）	18,336 円	18,916 円	18,560 円

目標値の考え方
基準値は居住促進区域にかかる５地点の地価について、2016 年度～2025 年度のうち、隔年の平均値になります。今後の誘導施策等の実施により、参考値である 2025 年度の実績値以上を設定します。
※5地点 ： 波佐見 5-1、波佐見（県）-1、波佐見（県）-2、波佐見（県）-3、波佐見（県）5-1
（P29 参照）

誘導方針 2
役場を中心とした利便性の高い拠点市街地の形成
南地区周辺におけるにぎわいと活気に満ちた地域交流拠点の形成

●にぎわい・魅力の向上

指標 4　都市機能誘導区域内の都市機能に関する指標

項目		基準値 （2026 年度）	目標値 （2046 年度）
都市機能	公共施設	7 施設	7 施設
	医療・福祉施設	13 施設	13 施設
	商業施設	7 施設	7 施設
	金融関連施設	3 施設	3 施設
	子育て・教育施設	8 施設	8 施設
	文化スポーツ施設	5 施設	5 施設

目標値の考え方
基準値は、2026 年度の実績値です。本町の人口減少による都市機能の減少・撤退は想定されますが、町民の生活利便性を維持するため、現状維持を図ります。

指標 5　公園・緑地に関する指標

項目	基準値 （2021 年度）	目標値 （2046 年度）
都市公園の遊具の更新	2 基	5 基

目標値の考え方
基準値は、第 6 次波佐見町総合計画の値ですが、今後遊具の更新を実施していくことから基準値以上を設定します。

指標 6　観光に関する指標

項目	基準値 （2022 年度～ 2026 年度の 平均値）	目標値 （2046 年度）	参考値 （2026 年度）
都市機能誘導区域に関わる観光入込客数	706,536 人	760,000 人 以上	763,094 人

目標値の考え方

都市機能誘導区域内における観光地点、イベントを抽出し、観光入込客数を算出しています。参考値は、2026 年度の実績値になります。今後の誘導施策等によりにぎわい・魅力の向上に努め、76 万人以上を維持します。

●公共交通サービスの充実

指標 7　予約制乗合交通に関する指標

項目	基準値 （2025 年 10 月～ 2026 年 5 月）	目標値 （2046 年度）
予約制乗合交通「チョイソコのんなっせ号」 乗車延べ人数	2,400 人	4,000 人

目標値の考え方

チョイソコのんなっせ号は、2025 年 10 月より運行形態等の見直しに伴う実証実験が行われており、基準値については、2025 年 10 月～2026 年 5 月の実績値になります。目標値については、実績値から月ごとの乗車延べ人数を算出し、それを１年間に換算した値として設定します。

指標 8　路線バスに関する指標

項目	基準値 （2026 年度）	目標値 （2046 年度）
路線バスの路線数	2 路線	2 路線

目標値の考え方

基準値は、2026 年度の実績値です。本町の人口減少による撤退は想定されますが、町民の生活利便性を維持するため、現状維持を図ります。

防災指針

地域防災力を高め、今ある暮らしを尊重した、安全で快適に暮らし続けられるまちづくり

●防災・減災

指標 9　生活環境（防災・防犯）に関する指標

項目	基準値（2025 年度）	目標値（2046 年度）
避難所・避難場所の利用のしやすさにおける満足度	3.01	3.30

目標値の考え方

基準値は、令和 7 年実施の町民アンケートの実績値になります。アンケートは 1～5 の段階評価です。目標値に関しては、アンケート結果より、防災・防犯に関する項目において、最も高い満足度である「騒音や振動などの公害対策」の結果が 3.26 であったことから、3.30 を設定します。

指標 10　災害時における飲食料、生活物資の供給に関する指標

項目	基準値（2021 年度）	目標値（2046 年度）	参考値（2027 年度）
災害時における飲食料、生活物資の供給協力に関する協定数	2 団体	10 団体	3 団体

目標値の考え方

参考値は、第 6 次波佐見町総合計画の値ですが、今後の防災・減災に関する取組により、参考値以上を設定します。

指標 11　地域防災力に関する指標

項目	基準値（2021 年度）	目標値（2046 年度）	参考値（2027 年度）
自主防災組織の団体数	2 団体	10 団体	5 団体

目標値の考え方

参考値は、第 6 次波佐見町総合計画の値ですが、今後の地域防災力の強化により、参考値以上を設定します。

指標 12 情報発信に関する指標

項目	基準値 （2026 年度）	目標値 （2046 年度）
役場からの情報発信手段（種類）の数	7 個	7 個

目標値の考え方

基準値は、2026 年度の実績値であり、今後の防災・減災に関する取組により、現状維持を図ります。

現時点の情報発信手段（ツール）は、デジタル防災無線、本町公式ホームページ、公式 LINE、登録制防災メール、緊急速報メール、屋外拡声局、戸別受信機になります。

指標 13 情報発信ツールに関する指標

項目	基準値 （2022 年度～2026 年度の平均値）	目標値 （2046 年度）	参考値 （2026 年度）
本町公式 LINE の登録者数	5,005 人	8,000 人	6,315 人

目標値の考え方

参考値は、2026 年度の実績値になります。年々登録者数が増加していること、将来の人口を鑑み、8,000 人を設定します。

指標 14 災害リスクの低減に関する指標

項目	基準値 （2025 年度）	目標値 （2046 年度）	推計値 （2046 年度）
災害レッドゾーン内に居住する人口	888 人	626 人	626 人

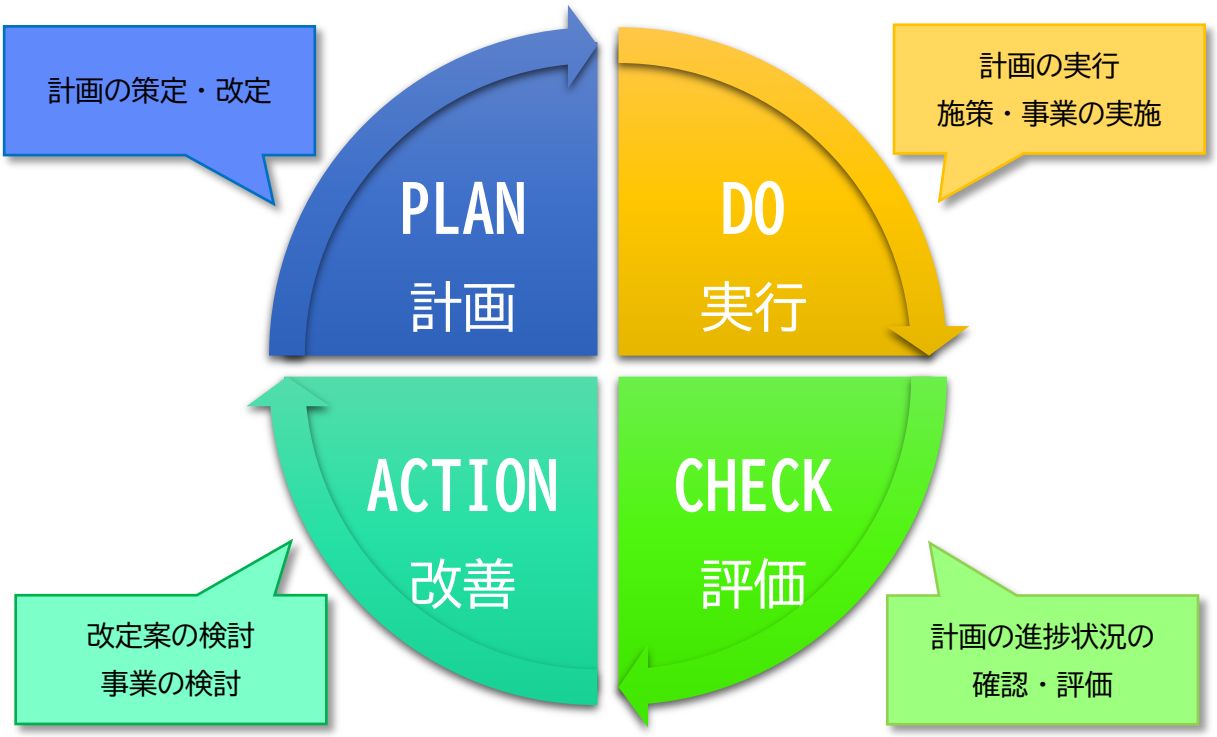
目標値の考え方

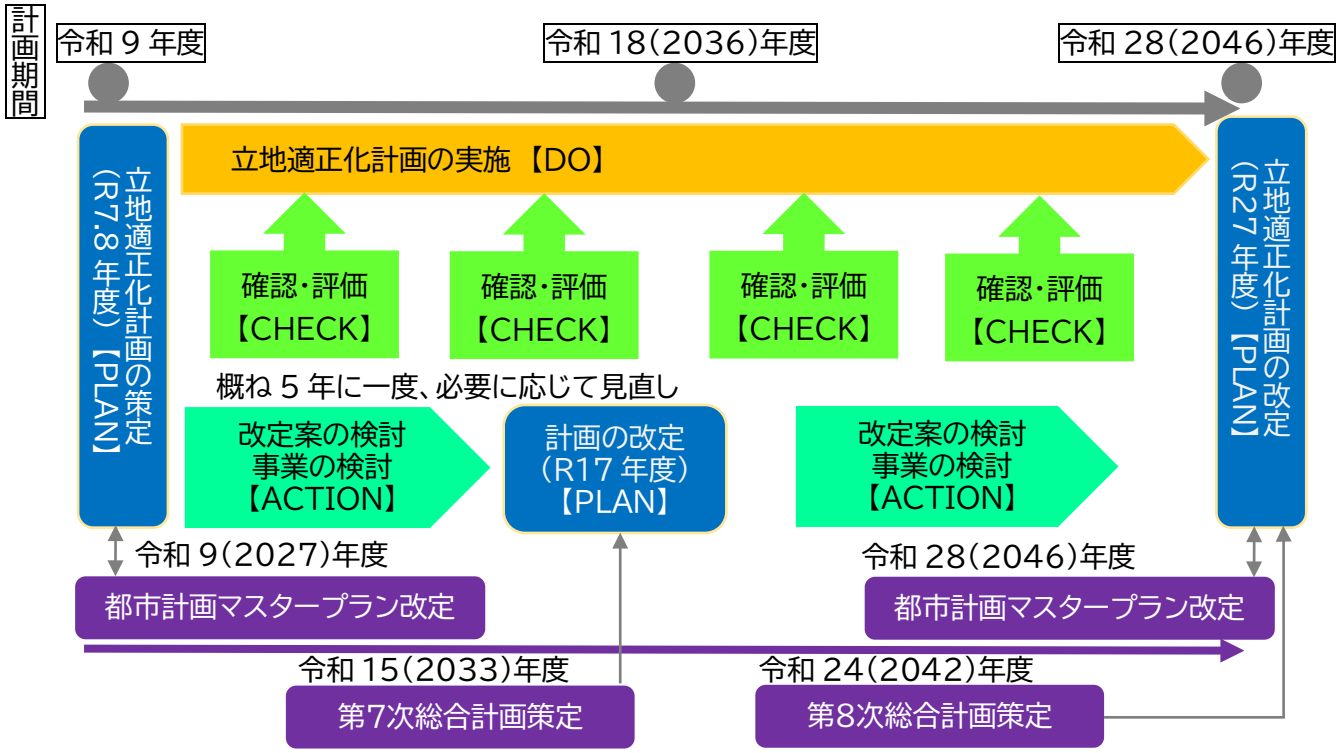
災害レッドゾーンは、本町では地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害特別警戒区域が指定されています。基準値は、2025 年度に町内で災害レッドゾーンに居住している人口になります。住民基本台帳から 2046 年の推計値を算出すると、626 人であることから、目標値として設定します。

2．計画の評価と見直し

立地適正化計画は、20 年後の「令和 28（2046）年度」を展望した計画です。計画策定後、概ね 5 年ごとに評価指標の達成状況や、施策等の進行状況の評価・検証を実施するとともに、今後の社会情勢の変化や国等による施策の実施状況について調査・分析を行うよう努め、必要に応じて計画の見直しを行います。

本計画の進行管理には、マネジメントシステムの考え方に基づき、PDCAサイクルを用いて確認・評価を行います。





■PDCA サイクルの考え方